2025

「新しい学び」を見つける場所

経済学部生になろう

見てみよう！
学科紹介
ショートムービー

MOVIE

Econ.

名城大学 経済学部

経済学科・産業社会学科

経済学科でできること。

船坂 翼

Funasaka, Tsubasa

4年

新たな発見は日常の小さな「なぜ？」から。自分にしかない観点で学問する。

1年次 生活の中に経済を見つけ、自ら考える力を養う

以前からアウトドア活動や地域での触れ合いを通じて環境問題や地方の高齢化問題に関心があり、社会の諸問題を学ぶことのできる経済学部に進学しました。1年次の「ミクロ経済学入門」では、自分で選んだ商品について需要と供給の関係を分析。身の回りにある市場の動きを読み解き、生活に潜む「経済」を考察しました。これにより経済学を身近に感じるだけでなく、高校までの受動的な学びとは異なる、自ら課題を見つけて学問するという大学での学びの基礎を身につけました。

2年次 最新技術に触れ、多様な情報の中で思考する

環境経済学を扱う「専門ゼミ」にて、EV（電気自動車）の展望について研究をスタート。自動車産業が盛んな愛知県において、企業、市民、政府などを対象にインタビュー調査や文献調査を行い、多角的に議論しました。また、エネルギー分野に関して、先進的なバイオマス発電所や研究機関（韓国ソウル市）を実際に訪れ、最新技術に触れました。情報が溢れる現代において、物事を複眼的にとらえ、必要な情報を取捨選択し、またそれらを活用する力を養うことができました。

3年次 自由な発想をもとに、新たなビジネスを構想する

環境問題について考える過程で都市養蜂と出会い、フィールドワークに参加。養蜂とセンサーを組み合わせた取り組みを調査し、昔ながらの産業と最新技術の結合によって生み出される新たな可能性を探りました。地方の人口減少や伝統産業の担い手の減少が取り沙汰されるなかで、日々進展を遂げるIT技術が社会を大きく変え、私たちの暮らしを豊かにしうることを実感。未来を描き出すには、常識にとらわれない、自由な発想が求められていると強く感じました。

4年次 Society 5.0を見据えた豊かな社会の実現に向けて

これまでの学びから、IT技術が人々の生活をより豊かにしていくことを感じ取り、半導体やIT技術を扱う企業に進路を定めました。卒業研究では、仮想空間と現実空間を融合させ、経済発展と社会課題の解決の両立を目指すSociety5.0をテーマに研究を進めています。現段階では、その普及には様々な課題が指摘されていますが、これまでに培った力を活用し現実的な提案はもちろん、自分にしか書けない視点で、論文執筆に取り組みたいと考えています。

千野舞理萌

Chino, Marimo

4年

産業社会学科でできること。

経済を知ることは、社会を知ること。この先の豊かな暮らしや人生を作り出す。

1年次 過去から学び、後世へ伝えていくことの大切さを学ぶ

高校生の時に社会を知ることが将来の充実につながると考え、「社会とは何か」を学ぶことができる経済学部に進学しました。1年次には、経済学への導入科目で学びを進めながら、愛知空襲と愛知の産業構造をテーマとする「社会フィールドワーク」を受講しました。机上で考えるだけでなく、現地へ行き自分の目で見て学ぶ機会を通して、より理解を深めることができました。愛知県は甚大な被害を受けた地であったことや、私たちよりも小さい子が兵器を作らされていたということを学び、胸が痛みました。

2年次 見えないコミュニケーションの壁を少しずつ乗り越える

「専門ゼミ」では、名古屋聾学校インテリア科の生徒さんと一緒に、折れたバットから新たな木の作品を作る活動に参加しました。当初は手話をまったく理解できず、コミュニケーションにおいて大きな壁を感じました。実際、休憩時間になると、私たち学生と生徒さんは分かれて話してしまうという問題もありました。そこで、筆談だけに頼るのでなく、手話の単語や指文字を覚えました。聾者の方々との交流にて、簡単な会話なら徐々にできるようになり、不安もやわらいで楽しさが大いに増しました。

3年次 他学部や地域の方々との関わりが、さらなるつながりを創出する

名城大学ボランティア協議会の役員として、大学周辺の清掃活動や安全パトロール、災害ボランティア、地域活性化ボランティアなどに取り組みました。学部・学年の枠を超えて学生が集まることで、活動の幅が格段に広がります。学外においては、警察官や自治体、地域の方々などと交流することもあり、見聞を広めることができました。ボランティア協議会の諸活動を通して、人との関わりがさらなるつながりを創出することを改めて実感しました。

4年次 自らの経験から、魅力ある地方を活気づける方法を考える

地域活性化ボランティアを通じて、都市や地方にかかわらず、各地域には伝統的な産業、文化、建築物・景観、人の温かさなどの魅力があふれているということに気が付きました。そして、これほどの魅力あふれる地域がなぜ知られていないのか、疑問に思いました。今後は、地方の抱える問題や、都市が抱える課題への理解を一段と深め、魅力ある地方へ出かけたり移住したりする人々を増やすには、どのような手立てが求められているのかを考察したいと思っています。

世界に視野をひろげる

斎藤 智美ゼミ
世界経済とヨーロッパ経済

EU経済の分析を通じて、国家の枠組みを越えて活動が行われる経済の関係について考察します。

佐土井 有里ゼミ
東アジア経済の特徴を考察

「奇跡」から「危機」にいたる経緯とその後のリカバリープロセスを概観し、東アジア経済の特徴を考察します。

杉本 大三ゼミ
世界の農業の姿と経済発展

経済発展との関係を見据えながら、世界各地の農業がどのように変化してきたのか、またこれからどのように変化していくのかを考えます。

谷村 光浩ゼミ
「国際開発・協力」を考える

持続可能な開発目標（SDGs）が掲げられるなか、『世界がもし100人の村だったら』の現実等を踏まえ、私たちはいかにグローバル経済・社会を描き直せるかを討議します。

名和 洋人ゼミ
現代アメリカ経済の論点に迫る

毎年テーマを設定して考察しています。2023年度は「アメリカの生活保護制度」「アメリカの移民政策」「バイオエタノール利用拡大政策」などのテーマに取り組みました。

日本・地域をもっと深く知る

伊藤 健司ゼミ
産業立地と地域経済

産業立地をベースに、多様な産業が地域でどう関わり、影響を与え、変化しているのかを考察します。

井内 尚樹ゼミ
地域経済の活性化をはかる

地域産業の実態を調査し、自然エネルギーを基礎とした地域経済の活性化策を考えます。

太田志乃ゼミ
地域経済と中小企業

地域経済を考える際、日本の企業数の大部分を占める中小企業に注目が集まっています。地域にとって必要な企業とはどのような企業か。主に企業へのインタビュー調査や文献調査から議論します。

渋井 康弘ゼミ
現代資本主義を分析する

ゼミ生同士、意見をぶつけ合い、経済理論を現実によって検証しながら、混沌として捉え難い現代資本主義を分析しています。

市場の動きを理論的に読み解く

川森 智彦ゼミ
ゲーム理論とその応用

各企業の利潤が他の企業の意思決定に依存していることがしばしばあります。こうした相互依存を分析する道具であるゲーム理論を学びます。

壷内 慎二ゼミ
社会問題の解決と株式投資

社会問題を株式投資で解決できるか検討し、その実効性を投資シミュレーションで検証します。

松尾 秀雄ゼミ
経済理論の学習・世界経済の分析

『資本論』や宇野理論をベースにした経済原論を研究。激動する世界や日本の経済を学ぶための基礎知識を深めます。

松田 慎一ゼミ
お金の融通とは何かを考える

家計・企業・金融機関などのお金の取引や流れと、それに伴う課題について調査・分析を行います。
（2025年度 新ゼミ開講予定）

焼田 紗ゼミ
経済の諸問題について考える

現在、日本経済が直面している少子高齢化や社会保障といった諸問題について、経済理論を用いて考察します。

ゼミナールって何ですか？

名城大学 経済学部

高校までの授業と大きく異なるのが、ゼミナール（通称：ゼミ）。専門分野の知識や技能を身につけるため、少人数クラスで行われる課題探究型の授業です。自ら希望するゼミを選び、仲間とともに関心をよせる研究課題に取り組みます。進め方は担当教員によって異なりますが、研究報告を行い、それに基づいて議論を深めるのが、ゼミの一般的なスタイルです。経済学をベースにした専門的な分析力と課題解決力を高め、自分たちで検証・反証した結果や、修正・構築した理論などは、レポートに取りまとめます。そして、その集大成が4年次に作成する卒業論文です。

データ　データを通して社会をみる

勝浦 正樹ゼミ
経済データを統計的に分析する

自分の興味のあるテーマについて、データを収集した上で統計的に分析し、結果に解釈を与えるといったスキルを身につけます。

蟹 雅代ゼミ
企業活動についてデータ分析する

イノベーション活動や投資など企業や産業にかかわるテーマを取り上げ、データを用いて実証分析します。

澤田 彰博ゼミ
実証経済分析を学ぶ

統計的・計量経済学的な手法に基づき、現実経済を実証的に分析するための方法論と実際を学びます。

野口 光宣ゼミ
不況からの脱出は可能か

GDPの算出方法を理解したうえで、ケインズ政策の有効性について考えます。

歴史思想　歴史・思想から現代社会へのヒントを得る

赤木 誠ゼミ
経済・社会を史（し）る

西洋の経済・社会の歩みを中心として学ぶ中で、社会にでて必要とされる社会人基礎力を養います。

大瀧 真俊ゼミ
歴史の視点から今の日本経済をみる

近現代の日本経済史を学ぶことを通じて、今の経済問題を長期的な視点で考える力を養います。

門 亜樹子ゼミ
「労働」を思想史的に考察する

「労働」の本質をめぐる種々の思想を、経済学の古典とともに、哲学、キリスト教、啓蒙思想に関する諸文献を基に考察します。

西山 徹ゼミ
ダニエル・デフォー『ロクサーナ』を読む

文学作品を通じて経済学の世界にアプローチしつつ、読解力、文章構成力、プレゼンテーション能力などを磨きます。

未来　未来のくらしと環境を考える

伊藤 志のぶゼミ
日本経済の現状と政策

経済・社会の現状を分析し、理解することを目標として、日本経済と社会的背景・諸政策について学びます。

神野 圭介ゼミ
総合社会科学でこれからの経済社会を考える

経済学・社会学・政治学・歴史学などの見識を学際的に結びつけながら、これからの経済社会のあり方をグローバルに考えます。

蓑輪 明子ゼミ
現代資本主義における労働と生活

現在、私たちの社会は労働と生活をめぐる深刻な問題に直面しています。現状を分析し、これからの労働、生活、社会と経済のあり方を考えます。

山田 浩貴ゼミ
公共政策のあり方を探る

教育や医療、地域や環境など、社会のグランドデザインについて、公共政策の視点から考えます。また、経済理論も学びます。

山本 雄吾ゼミ
交通・物流サービスの諸問題

学生主体のレジュメ作成・報告・討論を通じて、交通・物流サービスの現状と課題を把握します。

李 秀澈ゼミ
環境と経済を考える

気候変動問題や原子力リスクなど人類の未来を大きく脅かす問題から、ごみ問題やPM2.5問題など身近な環境問題に至るまで、その原因、発生メカニズムを考察し、解決に向けた方策を探ります。

見てみよう！
少人数教育
ショートムービー
MOVIE

経済学部ならではの新入生歓迎行事

デイハイク

経済学部では4月に新入生歓迎の「デイハイク」を開催しています。このイベントでは、中山道の妻籠などを、新入生と教員が一緒になって歩きます。かつて木曽川をくだり名古屋に来た木材が愛知の木工業を支え、それがやがて世界的な機械工業へと成長したこと、木曽川水系の水力発電所の数々が、中部地域の電力システムの基礎になったこと—こうした歴史を予め学び、デイハイクではそれらを体得します。

見てみよう！
デイハイクショートムービー

経営トップの生の声を聞く

起業講座

「起業講座」は、2000年の経済学部・経営学部発足時から両学部共催で開講しています。このプログラムは、経営者の考えを直接聞くことができる授業科目であるとともに、地域住民の方々にも広く開放されてきた取り組みです。中部圏を中心とした企業のトップの方々などをお迎えし、授業で学ぶ経済理論などがどのように実践されているのかを知ることができます。地域に根ざした名城大学ならではのユニークな講座として定着しています。

経済理論を学ぶとともに、実践的な活動を行い知性と実行力を兼ね備えた人材を育成。

見てみよう！
フィールドワークショートムービー

現実の社会に直接ふれる

社会フィールドワーク

現実の社会に直接ふれて自ら考えて行動し、実践的能力を身につけるユニークな授業が「社会フィールドワーク」です。通常、教室での学習と学外での見学や調査とを結びつけながら授業が展開されます。自ら調査項目を考えてアンケートなどを作成し、実際に現地調査に出かけます。教室で事前学習したことを現地で確かめたり、現地で疑問に思ったことを教室に戻ってさらに調べたりします。プログラムの最後には報告書などの取りまとめを行います。

異文化を肌で感じる

国際フィールドワーク

「国際フィールドワーク」では、夏季休暇などを活用して、韓国、台湾、シンガポール、アメリカ、イギリス、オランダ、フランスなど、さまざまな国を訪問します。それぞれのコースでは、主に現地企業、行政機関、経済団体などを訪問して、グローバル／ローカルな経済について学びます。また、現地では提携大学とワークショップを行うなど充実した内容です。観光・見学旅行ではない、貴重な体験を得ることができます。

主体的な学びの成果を発揮する場

ゼミナール・レポート・フェスティバル（通称レポフェス）

経済学部の2年生以上が所属する専門ゼミナール単位で参加するイベントです。自分たちの意見を分かりやすく伝える工夫をし、チームのみんなが力を合わせて研究成果をプレゼンテーションします。チームでテーマを設定し、文献調査やヒアリング調査などフィールドワークにも取り組みます。これらの取組みを整理し、議論する中でゼミ生との団結力を一層深めることもレポフェスの魅力の一つです。普段はそれぞれに活動しているゼミが一堂に会して、他のゼミの学生や教員と意見交換する場にもなっています。

見てみよう！
レポフェス
ショートムービー

先輩からのメッセージ

真剣な研究報告と熱のこもった議論をおこなった先輩からのメッセージやコメントの一部を紹介します。

テーマも方法論も研究スタイルも異なるゼミのプレゼンテーションをいくつも聞き、予想外の視点を見いだすことができます。プレゼンテーション能力はもちろん、リーダーシップや協調性を身につけることができます。

質疑応答で、ゼミの仲間だけでは気づかなかったことを発見したり、緊張感のある発表の場は、学ぶ力を大いに伸ばしてくれると思います。実際の経験や失敗こそが自分を磨く近道です。今回の経験から見つけた課題をもとに、さらにレベルアップします。

皆で集まって、文献のレポートを分担し、議論を重ねて論理を探究することで、1人では成し得なかった新しい知見に到達することができます。互いに協力して、研究を深めていくプロセスは、自分を大きく成長させ、最高の思い出を作る場です。将来社会に出て働く際の大きな基礎となりうると実感しました。

レポフェスに参加することを通して、学生生活、ひいては社会人生活で必須となる論理的な文章のまとめ方や自分の意見を他者に伝える力が身につきます。他のゼミの優秀なプレゼンテーションを見て、次年度は後輩たちとともに、もっと中身の濃い発表にしたいと思っています。

来年度ゼミ活動の中心となる2年生には、スライドの作成や研究発表を主導してもらいました。3年生は下級生を支える形でゼミを運営してきました。後輩へ上手くバトンが渡せたと思います。今後も研究の質をさらに向上させてほしいと応援しています。

先輩の学びのスタイル

夢に向かってまっすぐ走っている人がいます。“今の自分”を乗り越えて、“新たな自分”を発見した人もいます。
ストーリーは十人十色です。名城大学の4年間。
夢へのスタートラインに立った先輩は、そこで何を学び、どんな出会いを体験したのだろう。

豊富にある自分を磨くチャンス
さまざまな活動を通して主体性を身につける

自信を持ちたくて取り組んだ教職課程

高校時代に読んだ本(『億の富のつくり方』)が、経済に興味を持つきっかけでした。本書では、円高・円安、インフレ・デフレの仕組みなど基礎から分かりやすく解説されていて、日本のお金の仕組みと世界とのお金の関係を知ることができました。進学にあたって、名城大学経済学部では、中学校(社会)、高等学校(地理歴史、公民、商業)の教員免許を取得できることに魅力を感じました。教職課程を履修しましたが、学部の授業と並行して教職課程の科目を履修することになるため、授業は必然的に多くなりました。大勢の前で模擬授業などを通して実践的な経験を積み重ねることによって、自信が芽生えるようにもなりました。お互いに教え合い、刺激し合うことで、同じ志をもって頑張る仲間の存在が宝物となりました。9月には出身高校での教育実習で、教える立場としてはじめて教壇に立ちます。恩師にお目にかかることも楽しみにしています。

やりたいことを明確にして、「熱意」でアクションを起こそう

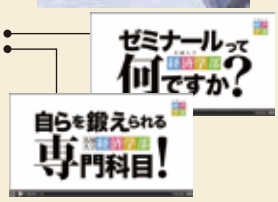
私が所属していたゼミでは、教育や医療、地域や環境など、社会のグランドデザインについて、公共政策の視点から考察しました。先生から指定された文献の要約と論点を発表します。いずれも「経済学部の学生・卒業生として知っておくべきこと、また知っていれば役に立つこと」という視点で、特に地域や環境、教育や福祉・社会保障など公共政策にかかわるテーマを扱った書籍です。2年次には6冊、3年次には4冊、発表内容に基づいて、学生同士で意見を交わしたり、先生からフィードバックをいただきながら、自身では気づかなかった視点や新しい考え方を身につけることができました。

中学は吹奏楽部、高校では弓道部に所属していましたが、大学では日本拳法部に入部しました。長い間取り組んできたことを大学で深めることも、新たな競技をはじめてその新鮮さを味わうことも、どちらも刺激のある楽しい経験になると思います。

日本拳法部
防具をつけて行う総合格闘技。ほとんどの部員が大学から始めている。

教員になりたいと思っていた私の転機となったのは、アパレル販売スタッフとしてのアルバイトです。人と接する仕事の魅力を実感し、自らの興味関心が刺激されて一般企業への就職を検討するようになり、業界を限定せず営業職に就きたいという強い思いで就職活動に臨みました。内定をいただいた建材・住宅設備の専門商社の企業理念「快適で豊かな住環境の創造のために」、刻々と変化する住まう人のニーズに俊敏に対応することで、やりがいを多く得られると思っています。

皆さんも気持ちを込めて取り組める「何か」をぜひ見つけてください。名城大学は、皆さんの多種多様な興味関心を、全力でバックアップしてくれるはずです。



Webサイトで経済学部をチェックしよう!

ゼミナールやフィールドワークをムービーでご紹介してます。

見てみよう!
高い就職率
ショートムービー
MOVIE

名城大学 経済学部
〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
TEL:(052)832-1151(代)